

湯沢町が移住定住者支援施策を発表



湯沢町全景

湯沢町移住定住促進プロジェクトは8月1日に公式HPを公開。子どもを産み育てる世代(35歳前後)、これからの社会を担う世代(24歳前後)をそれぞれメインターゲット、サブターゲットとした各種移住定住施策やインパクトのあるPR動画を公式HPに掲載した。



湯沢町移住定住促進プロジェクト HP トップページ

湯沢町移住定住促進プロジェクトでは、湯沢町が手厚く、思い切った取り組みをしていることを広くPRするために、民間から採用した広報戦略アドバイザー監修のもと、スマートフォン閲覧を重視したHPを作成。さらに自治体作成する従来の動画とは一線を

湯沢町移住定住促進プロジェクトでは、湯沢町が手厚く、思い切った取り組みをしていることを広くPRするために、民間から採用した広報戦略アドバイザー監修のもと、スマートフォン閲覧を重視したHPを作成。さらに自治体作成する従来の動画とは一線を



田村正幸町長



湯沢人…ing 上田恭平さん 移住歴6年



湯沢人…ing 水谷知弘さん 移住歴12年 / 水谷幸乃さん 移住歴4年



LIVE@YUZAWA

画するインパクトのある構成のPR動画を公開した。

大学生の皆さんへ

この夏、湯沢町の企業で **インターンシップ** に参加しませんか!!

実施期間: 平成28年 9月7日(水)~13日(火)

対象: 大学1~3年生

受入企業: ●越後湯沢HATAGO井仙
●ナスパニユーオータニ
●貝掛温泉 ●ホテル双葉
●本陣さくら亭 ●森下組

※平成29年3月頃に第2回を予定しています。今回都合のつかない方は、次回ご検討ください。

なぜ湯沢町でインターンシップ?

昨年度策定した「湯沢町総合戦略」において、「若者が生活の場として選択するまち」を重点目標として掲げ、**首都圏から湯沢町への若い世代のU・I・Jターンを促進**することとしています。そこで、目標達成のための施策のひとつとして、町内企業への就職を身近に考えてもらうために、インターンシップ(就業体験)を実施することとしました。なお、本事業は湯沢町、湯沢町商工会、新潟県南魚沼地域振興局の三者が連携して計画・実行します。

交通費支援 新潟県U・Iターン学生就職面接等交通費補助金 県外在住の大学生等が、インターンシップに参加する際の交通費のうち、1/2に相当する額を1万円を上限として支給できる制度を利用可能です。
詳しくは <http://www.pref.niigata.lg.jp/roseikoyo/1356841151769.html>

お申込問合せ 湯沢町商工会HPよりお申込みください
湯沢町商工会 TEL.025-784-2522
新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢2882-8
<http://yuzawa.or.jp/internship/index.html>

湯沢U・I・Jタイムズ

2016 AUGUST



主な内容

- 1 就業支援施策、起業支援施策、子育て支援施策
- 2 住宅支援施策、たとえば、あなたが24歳なら
- 3 生き生きと生活を楽しむこれが湯沢スタイル
- 4



ジップラインアドベンチャー 雪だるまつくり 鱒止まり

豊かな自然に囲まれた湯沢では、その楽しみ方も多岐に渡ります。自然が作り出した天然のプール「鱒止まり」や森の中をターザンの様に疾走するジップラインアドベンチャー、雪国ならではの雪だるまつくりなど、数えあげればきりがありません。せっかくの湯沢生活、全部制覇するつもりでやってみるのもいいかもしれません。



お隣さんからおすそわけ 湯沢温泉夏まつり 総合型地域スポーツクラブ「ユースポ」

町をあげての祭りに参加したり、お隣さんからおすそわけをいただくなど、湯沢には都会とはまた違った人間関係の場が待っています。はじめは億劫かもしれませんが、ぜひ参加してみてください。きっと素敵なお仲間ができ、2倍も3倍も湯沢生活が楽しくなります。

さまざまな支援策が充実している湯沢町ですが、そもそも皆さんが移住・定住を考えたきっかけとなったのは、湯沢の自然や湯沢に住む人たちの人柄ではないでしょうか。ここでは、新生活に向け湯沢の良さを生かす「湯沢スタイル」を実現するための情報を紹介します。

生き生きと生活を楽しむ これが湯沢スタイル



湯沢高原ロープウェイ ドラゴンドラ 大源太湖

四季の変化がはっきりし、春夏秋冬それぞれに訪れるすばらしい景観が私たちを魅了する湯沢の自然。大源太湖や湯沢高原など絶景ポイントが目押しなのは言うにおよばず、ほんの身近なところでも心を和ませる美しい風景に出会うことができます。あなたなりの湯沢の自然の楽しみ方を見つけてみてください。



越後湯沢温泉 雪との暮らし こらっしやい湯沢収穫祭

これまで観光地として訪れていた湯沢も、そこに住むことになれば、また別の顔を覗かせます。生活の一部としての温泉、スキーのためだけにあるわけではない雪、自然の恵みに感謝する瞬間…。自然と暮らすということは良いことだけではないかもしれませんが、それらすべてを含めて、湯沢生活を楽しんでください。

ツヴァイは湯沢町の「婚活支援事業」をお手伝いしています。

湯沢町は、出会いのきっかけ作りをサポートします。

- ◎湯沢町は総合戦略事業として、町民の婚活を支援します。
- ◎イオングループの結婚相手紹介サービス会社(株)ツヴァイと団体契約を結んでいます。
- ◎ツヴァイに入会する際に必要な費用を湯沢町が全額負担します。ただし、月々の費用は個人負担となります。(金額はコースによって異なります。)
- ◎湯沢町に1年以上住民登録をしている20歳以上の独身の方が対象です。

ここで、いい恋愛結婚を。

あなたの成婚を支える、ツヴァイならではのサービス

理想に近い会員同士が出会える、ツヴァイのシステム
ツヴァイでは、相性・適合性診断に基づいて理想のパートナーを紹介する、東京南バス・トマッチングシステムを採用しています。

ご結婚までの流れ

資料請求 → 結婚に向けてのご相談 → 会員登録ご入会 → 交際恋愛 → 婚活結婚

信値観 マッチングによる出会い
条件 マッチングによる出会い

スタッフによるお引き合わせ
ハンドメイドのお引き合わせ
お申し込みからお申し込みまで、お申し込みからお申し込みまで

成婚料は掛かりません!

結婚という幸せへ。ツヴァイがお手伝いします。

お問い合わせ、無料コンサルティング予約はこちら **フリーコール (10:00~19:00受付) 0120-277-281**

【お問い合わせ】 ☎ 湯沢町移住定住促進プロジェクト 新潟県南魚沼郡湯沢町大字神立300 移住相談フリーダイヤル ☎ 0120-558-140 (湯沢町役場 総務部 企画政策課内)

住宅支援施策

多くの人が湯沢で暮らせるように 住宅取得支援として住宅を取得される方に 最大年間15万円(固定資産税相当分)を 5年間補助

移住へのマインドを実行に移すときに大きな障害となるのが住宅。若者にとって住宅の取得は人生における最大の投資であり、その負担の大きさからも決断には後押しが必要となる。湯沢町では、県外から移住する方が住宅を取得する場合、住宅取得支援として、新築・中古を問わず建物の固定資産税相当額を年間最大15万円、5年間補助する。また、この制度を受けられる取得住宅にはリゾートマンションも含まれており、湯沢町に存在する58棟ものリゾートマンションの活用にもつながる施策としても注目が集まっている。



ちょこっと調べてみました／

やっぱり気になるお金の話!

湯沢と首都圏の二人以上の世帯の生活費データです。収入は少ない湯沢ですが支出も少なく、収支をトータルすると湯沢の方がより自由になるお金が多いことがわかります。

生活費比較 二人以上世帯

	東京23区※1・2	湯沢町	湯沢町
収入			
内訳 世帯主収入	554,000円	494,000円	494,000円
配偶者の収入	60,000円	216,000円	60,000円
支出			
内訳 家賃	541,000円	411,000円	467,000円
食費	172,000円	70,000円	70,000円
光熱・水道費	85,000円	70,000円	70,000円
日用品費	22,000円	30,000円	30,000円
保険医療費	31,000円	31,000円	31,000円
交通費(自動車経費含む)	14,000円	10,000円	10,000円
教育費	32,000円	50,000円	85,000円
教養娯楽	22,000円	20,000円	20,000円
税金	42,000円	30,000円	30,000円
	121,000円	100,000円	121,000円
収支	+13,000円	+83,000円	+87,000円

冷房費が
少ない分
暖房費が多め

自家用車が
必須

新幹線通勤定期券+35,000円

※1 総務省・家計調査報告家計収支編(平成26年) ※2 総務省・住宅・土地統計調査(平成25年)
注)あくまでも例です。就労や生活の状況により異なります。

就業支援施策

都心へ一直線! 湯沢は通勤圏内

他に類を見ない長期支援! 毎月最大5万円、10年間もの新幹線通勤補助

湯沢町移住定住促進プロジェクトの各種施策の中でも最目を引くのが「新幹線通勤補助」だ。これは、都内まで新幹線で最短1時間12分という湯沢町ならではの恵まれた交通条件を活かした施策で、毎月最大5万円の通勤費補助を10年間行なう。現在も職業選択の多様化の観点から企業誘致に取り組み湯沢町だが、その実現にはある程度の期間がかかる。この施策はそのために考えられたものである。

のであり、移住しながら都内で仕事を続けられるという、まさに逆転の発想と言えるものだ。実は同様に新幹線停車駅を持つ自治体においても、このような施策を打ち出したところは無いわけではない。しかし、湯沢町のように豊かな自然



上越新幹線Maxとき

子育て支援施策

子どもをのびのびと安心して育てられる環境 18歳以下子ども医療費全額無料



子ども歯科健診

本プロジェクトのターゲットである35歳前後、24歳前後の若者たちにとって極めて重要な問題となるのは子育てに

関する環境。湯沢町では、2つの大きな施策を中心に子ども支援施策を提供している。その1つは「18歳以下子ども医療費全額無料」だ。施策名を見てもわかるように、湯沢の子ども達は義務教育を終了してもなお、選挙権を得るまでの18歳まで医療費全額無料という恩恵を受けられる。幼い頃は各種予防接種など、大きくなれば部活動でのケガなど、何かとかさむ医療費が全額無料なのは子育てにうれしいのひとことだ。

待機児童問題とは無縁の暮らし
もう1つの子ども支援施策の核となるのは、全国的にも珍しい町営の保・小・中一貫校「湯沢学園」だ。各種の効果が期待できる保育・中学までの一貫教育は言うにおよばず、都市部では社会問題となっている待機児童問題が無いのも大



湯沢学園内ボルダリングで遊ぶ子ども

湯沢の子育て支援施策

- 【子育て支援】**
- 18歳以下子ども医療費全額無料
 - 妊娠～子育てまでの各種補助金を段階別に支給
- 【教育支援・保育支援】**
- 保・小・中の一貫校「湯沢学園」
 - 延長保育・休日保育・病児・病後児保育の受入れ(湯沢学園)



湯沢学園

就業支援

新たな人生の拠点、湯沢で働く 湯沢町内での起業に最大100万円を補助

「都会で身につけた知識や技術を活かしたい」「新天地で新たなことにチャレンジしたい」など、多くの方が移住後の就業に抱く強い思いの最たるが起業。湯沢では湯沢町内での新規事業に参入する事業者または個人に最大100万円を補助する。移住者ならではの町外からの視点で、湯沢町に新たな需要や雇用を創出することを期待しての施策であり、町の経済を発展させる原動力となることが大いに望まれる。

湯沢の就業・起業支援施策

- 【通勤支援】**
- 新幹線通勤補助金として毎月最大5万円を10年間支給
- 【起業支援】**
- 起業支援補助金として最大100万円を支給
- 【就職支援】**
- ゆざわ就職相談会
 - 介護資格/大型自動車免許取得支援として取得にかかる費用の一部を補助

住宅支援施策

雪国ならではの! 克雪対策に大きな支援も 克雪住まいづくりの費用を支援



勢いよく雪を飛ばすロータリー除雪車

都会から雪国湯沢への移住となるとやはり気になるのが雪。湯沢では雪国ならではの手厚い施策で雪国での暮らしをサポートする。その1つが「克雪住まいづくり支援」。これは新築・中古を問わず住まいを克雪づくりにした場合に費用の一部を補助するものだ。同様の支援は「住宅取得支援」を受けた者にも適用され、こちらは最大5万円が給付される。新潟県でも豪雪地として知られる湯沢町。県内でも指折り数えるほどの除雪技術に加え、支援を利用した克雪住宅に住むことで、克雪ではなく親雪と言える暮らしを送っていたきたい。

湯沢の住宅支援施策

- 【取得支援】**
- 固定資産税相当分として最大年間15万円を5年間補助
- 【克雪住まい支援】**
- 新築/中古住宅を克雪づくりにした場合の費用の一部を補助
 - 住宅取得支援を利用された方が克雪住宅にした場合、5万円を上限に給付
- 【賃貸住宅入居支援】**
- 賃貸住宅契約時にかかる費用と家賃の一部を補助

湯沢町は、安心・安全

日本の戦後歴史上最大の被害をもたらした東日本大震災をはじめ、全国いたるところで地震が発生している地震大国日本。そんななか湯沢町では、これまで地震による甚大な被害を受けたことがない。湯沢町も属する中越地方に大きな被害を及ぼした「新潟県中越地震」(平成16年10月23日)や「新潟県中越沖地震」(平成19年7月16日)においても住宅被害はほとんど無かった。

湯沢町がU・I・Jターンの促進に本気だ。湯沢町は8月1日から、上越新幹線を使って通勤する町民を対象に定期券代の一部を補助する制度を始めた。

目を見張るのは、その金額と補助期間だ。条件を満たせば最大5万円、10年間を支給する。新幹線通勤にかかる補助金を支給している自治体は他にもあるが、これほど手厚い補助は全国的にも珍し。

補助対象となるのは、高崎と長岡以遠に通勤し、15年以上湯沢町に居住したことがある30歳未満の町民らだ。県内就職を希望している学生にも利用できる設定となっており、職業選択の多様化に役買っている。

例えば、実家が湯沢町にあるUターンの候補者は、勤務先の交通費補助に加え、この制度を利用すれば都心で一人暮らしをしなが

たとえば、 あなたが24歳なら

～新幹線通勤に対して補助～

朝夕の満員電車で通勤するより快適かつ経済的かもしれない。

湯沢町は他にも、18歳以下子ども医療費無料化や起業支援補助金などの施策で移住を促進する。将来、子どもを育てたい、自分で仕事を起こしたいという若者の気持ちにも応えるためだ。ここからも町の本気をうかがえる。



新幹線を使えば越後湯沢から東京までは約75分。十分通勤圏内と言える時間だ。平日は都心へ仕事に、休日は豊かな自然の中のびびと。そんな生活を思い描いている若者には湯沢町は最適な移住先だろう。

